



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

# 川柳ステーション 2022

2022

8

川柳ステーション 2022	19
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
川柳吟行会「ぼ」	41
十和田たてがみ川柳会 6月句会報	45
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	40
Infomation	48～

## カンテラ

おぼろ

川柳ステーション2022を無事終了することができました。

参加者がそれなりに集まるか、特別選のリモート披露が手筈どおりいくか、参加者に新型コロナウイルス感染者が出ないか、そんなことが心配された大会でしたがそれなりにクリアできホッとしています。

皆様、ありがとうございました。

ところで、本稿を書き始めた日、どの局のテレビもある事件のニュースだけになりました。

安倍晋三元首相が参議院議員通常選挙の応援演説中に銃で撃たれたのです。

安倍元首相も銃撃した犯人も、日本という社会が生み

出しました。

犯人はどうしてそこまで行ってしまったのだろう。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

## A群

老人のスタートラインには立った	齋藤泰子
惚けられへん預金残高あるんやもん	旅男
五番街のマリーはどうしたのだろう	芝岡かんえもん
あなたではないバナナが悪いのです	鳴海賢治
したたかな風を一覧表にする	まぎこ
走らねば心が遙か前に行く	村井規子
影法師僕より先に泣いている	柳谷たかお

3はいや4が好きだと言っ娘

葉閑女

負けません口のリハビリならしてる

吉田州花

迷って迷って岬にきてしまっ

ひとり静

ボタン掛け違えたまま地球まわる

柳本恵子

雨上がる千本鳥居の朱をくぐる

渡邊こあき

どこを見るといつのかフキの穴

坂本清乃

空っぽになるまで何を唄おうか

きさぎ彼句音

冥途への往復切符あればなあ

村上あつこ

村上あつこさん、「冥途」って「死者の靈魂が行く道。

また、行きついた世界。」(広辞苑第七版)ですよ。簡単に言うと、三途の川の向こう側、つまり、あの世が「冥途」。三途の川の手前からだと戻って来られそうだけど、「冥途」まで行っちゃうと戻れないんじゃない?あれ?どこかの旅行社で「冥途」への格安ツアーとかやってるかな…。

## B群

回覧板の余白に書いてある秘密	ひらく
ハンガーの向きが逆なの鳳仙花	宮井いずみ

ざわざわわ肩胛骨のナイル河	岩根彰子
祭去りゼリーの街の表面温度	四ツ屋いずみ
迷子札落ちてる山のラーメン屋	土田雅子
着地して槍は静かな棒になる	吉田吹喜
トゲひとつ刺さったままで深緑に	ひとは
換気するまではフェイクニュースでした	三浦蒼鬼
電池切れ豆大福が効くらしい	熊谷冬鼓
メダカの学校を二年で中退	田久保亜蘭
大皿へ野菜畑を広げてる	辻井洋子

辻井洋子さん、「野菜畑」を「大皿」へ広げるって凄いスケールだね。どんな野菜が育っているんだろう。蕃茄、茄子、胡瓜、甘藍、白菜、人参、大根、大菜、高菜、菠薐草…。ところで、「菠薐草」って読めますか?答は「ほうれんそう」です。あ、関係ないか。

## C群

バサバサと羽根の音だけする絵本	米山明日歌
関係者とり合わせてるふくらみはぎ	守田啓子
へぺロンチーノ餌にUFO釣り上げる	石橋芳山



アボカドをぐさりニンゲンをがぶり 奈良一艘

米山明日歌さん、だいぶ前の話ですが、句箋に「鴉の羽根」と書いた私に、それは「羽」と書くべきだと言った方がいます。辞書を引くと、「羽」は「鳥や昆虫が飛ぶための器官（昆虫の場合は「翅」とも書く）」で翼状のもの、「羽根」は「鳥や昆虫の体から抜けた羽や、羽を加工したもの、またそれに模したものでした。とすれば、この句の「絵本」で音を立てているのは矢羽根とか赤い羽根とか扇風機の羽根とかってことになるのですが、何だかな…。ということ、この句の「羽根」の正体は一体何だろう。

守田啓子さん、「ふくらはぎ」は「脛脛」で「脛（すね）の後方のふくれた所。腓（こむら）。（広辞苑）ですよね。「すり合わせ」は①「機」高精度な平面を作るための手仕上げ作業。表面を摺合せ定盤で摺り合わせ、きさげで削って仕上げる。②それぞれの意見や案を出し合い調整してゆくこと。」で、この句の場合は②でしょ？啓子さんの「ふくらはぎ」と自分の「ふくらはぎ」を「すり合わせてる」人がいるってわけじゃないよね。

石橋芳山さん、松江で「UFO」が釣れるの？誰でも釣れるの？芳山さんだけに特別釣れるの？で、釣った「UFO」を自宅物置とかに何機か置いているの？それ、見せたら見学料を莫大に稼げるよ！売ってもいいカネになるし…。にしても、「ペペロンチーノ」が「餌」で「UFO」が釣れるとは思わなかった。「ペペロンチーノ」って、「唐辛子をオリーブ油で炒めてパスタにからめた料理」（広辞苑第七版）でしょ？俺に釣り方教えてくれないかな…。あれ？もしかしたらその「UFO」って実は比喩で、「UFO」みたいな正体不明の奴を、そいつの好物「ペペロンチーノ」を餌に言うことかせるってことかな？

奈良一艘さん、この句で言おうとしているのは「アボカド」と「ニンゲン」の一艘流食べ方だよね？一艘さん、毎日「アボカド」と「ニンゲン」を食べてるの？そうしないといけない句がつかれないの？「ニンゲン」も美味しいの？そうでもないのがあるんだろうな。頭から「がぶり」か…（汗）

おかしょうき川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅7月月間賞

暗がりの火薬はぬれて匂わない

米山明日歌

### 四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

ちよつと眼鏡がズレている親近感  
金曜のわれらは沖へ沖へと  
どちらかと言うと曇天似合う肩  
アカスリのアザラシ無添加のヨダレ  
祭去りゼリーの街の表面温度

先月号の  
お気に入り

ガラスの破片が敷き詰められている背中 むさし  
戦地ではそんな背中が数えきれないほど…辛いです。

### 米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

だいたい遊びの鬼はわたしです  
バサバサと羽根の音だけする絵本  
寂しがり写真ばかりを撮りたがる  
あんぱんのあんの片寄る日曜日  
桜貝ひろってすてる夢ばかり

先月号の  
お気に入り

ついてってみよう知らない人だから 葉閑女  
わかります。怖いけど知らない人は、魅力的。私って危  
ない人ですか。

### 石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

ペペロンチーノ餌にUFO釣り上げる  
眉と目の間で星のフラメンコ  
息遣い荒い西日へプチプリン  
プルトッププシュッと顔は洗ったか  
もうそんな時間か夜をたたまれる

先月号の  
お気に入り

### 岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

ざわわざわわ肩胛骨のナイル河  
アワダチソウが踏んでいるのは元家主  
酔っぱらってくれる下駄の烙印  
分類をすれば君はビーの枠  
カトちゃんのちよつとコマセな股引掛け

先月号の  
お気に入り

黒髪から折りたたもうか韻踏んで きらぎ彼句  
読み砕きも想像も許されぬ世界観。

### 渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

雨上がる千本鳥居の朱をくぐる  
借景を足してステンドグラスの美  
何代も代わり変わらぬガラス窓  
贅凝らす大正ロマンに酔っている  
バスツアー前後左右をひとり占め

先月号の  
お気に入り

やっかいなあなたのような両手鍋 米山明日歌  
やっかいな両手鍋のようなあなたを美味しく料理してみた  
ものです。

### 安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

こんなにも自由平和に住み慣れて  
ポスターの下にお世辞を一つ書く  
女性から男性引くと六になる  
実況を見ている武器と死と滅び  
アイコンから裸電球跳び出した

先月号の  
お気に入り

オットセイのように笑うと決めました まきこ  
わたしも試していますが。

### 上村夢香【うへむらゆめか・山口県岩国市】

生き方を偲ぶ鎌倉清方の  
花巡り2時間待つてあじさい路  
三年ぶり古都の空気を独り占め  
今朝もまた足の向くまま京ゆらり  
再挑戦どこまで続く旅だろう

先月号の  
お気に入り

歩数計西へ西へと今日も行く 斎藤泰子  
ご法話を聴きながらしみじみと・・・

### 小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

息が苦しい真昼の麦畑  
ネジバナの反乱分子押さえ込む  
目玉焼き食べてないけど戦車戦  
紫が濃くなっているモンシロチョウ  
死に神をドローン狙っているらしい

先月号の  
お気に入り

### きさらぎ彼句吾

〔きさらぎあくあ・青森県弘前市〕

ぼたん外すゆつくり花弁ひらきだす  
アドレスも消そうかしづくする指よ  
毛玉だらけになつてしまつたのか乳房  
処方箋にしんしんつもる白い闇  
空っぽになるまで何を唄おうか

先月号のお気に入り

饒舌な脂肪を少し黙らせる  
ウエストの辺りで大阪のおばちゃんが…  
芝岡かんえもん

### 木村美映

〔きむらびえい・青森県青森市〕

アリバイの祭囃子はしらじらと  
笛吹きも跳人もマスクをつけるとか  
活力はマスクの裏に置いてきた  
復活も復興もなく進撃の巨人  
蹂躪の後に憎悪が芽を出だす

先月号のお気に入り

自販機で春の雨冠を買う  
ここに差す傘はどこに売っていますか？  
守田啓子

### 熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

肩肘を尺取虫に計られる  
電池切れ豆大福が効くらしい  
ガンバリを健康オタクと言い換える  
あいまいな記憶をチョウウが補填する  
撥ね払いにこだわっている小の月

先月号のお気に入り

自販機で春の雨冠を買う  
間違つて電や霰のボタンを押さないようにしないと。  
守田啓子

### 斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

老人のスタートラインには立つた  
本性をひらひらさせて酔っている  
飯の世の仕組みしよげたり浮かれたり  
気に入つた神様の言うことだから  
掻き傷のまままで六十代終わる

先月号のお気に入り

木の芽時もう生娘じゃいられない  
脱帽！！  
土田雅子

### 坂本清乃

〔さかもときよの・青森県蓬田村〕

どこを見ろというのかフキの穴  
子育てのカラスに追われ犬笑う  
ひと振りの鍬で楽しむ事もある  
有事だと昆虫食を渡された  
もう一つやりたい事が見付からず

先月号のお気に入り

先月号のお気に入り

### 笹田隆志

〔ささだたかし・青森県青森市〕

父の日の父は砂漠の穴の中  
鬼の棲む霞が関の非常口  
ネバネバをサラサラになるまで晒す  
ひばり啼く埠頭にかすむ夜光虫  
隻眼のペテン師の吐く五里霧中

先月号のお気に入り

錬金術師です…元手がありません  
僕も錬金術師になりたい。 達毘古

### 芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜〕

もうなにも喋つてくれぬソーダ水  
わたくしの一丁目一番地 反る  
五番街のマリーはどうしたのだろう  
あの人をソフトに編んでいるところ  
まいったね刃こぼれだらけになつちやつた

先月号のお気に入り

困るほどドアばかりある春の部屋  
これわかるなあ…なんか似ている。  
米山明日歌

### 城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

ボランテアじゃないヨガ教室の深呼吸  
深々と感謝知らずの顔をして  
大きな音がして母の部屋走る  
だとしても孫の躰のお節介  
雨上がる草はちつとも悪くない

先月号のお気に入り

「頑張るな」「頑張らないとだめなんだ」  
頑張ると疲れる。頑張らないと眠れない。  
鳴海賢治

## 須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

アリスと見てるグループLINE未読  
砂山に隠すダイソンの掃除機  
一日分の野菜を摂りに…生きる  
遠くから見てるコンパスの裏側  
レシーブの日付を一個巻き戻す

先月号の  
お気に入り

太陽をいっぱい積んで風を読む 四ツ屋いずみ  
たつぷりの風を孕んだガレオン船が、目の前を滑るよう  
に跳ぶ。そろそろ海賊王でも目指そうか！

## 瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

亀よりも兎の人生オレらしい  
元カレの中でも生きているワタシ  
修羅越えて涙腺すでに枯れました  
あの人にだけは言えない「すみません」  
腹黒の腹へ汚れた雨が降る

先月号の  
お気に入り

言の葉をこんなにもまあ散らかして 斎藤泰子  
散らかしたこの言の葉を紡いで詩にしていくなのですね。  
これがまあ難しい…。

## 田中薫

【たなかかおる・青森県弘前市】

切った髪から哀愁が漂ってる  
なにもかも真つ暗な中の点から  
臍の緒の行方身体の何処どこよ  
え 葬儀の時の演奏もちバッハの  
細い腕広げて臭い土を抱くの

先月号の  
お気に入り

## 旅男

【たびお・青森県五所川原市】

あら不思議レンズにあったもう一品  
同じ本二度買ったから三度読む  
あら貴方後ろにもある前開き  
惚けられへん預金残高あるんやもん  
あら不思議眼鏡の上に眼鏡はかかる

先月号の  
お気に入り

浮気をする火がつくものなあんた 須藤しんのすけ  
ハイ、ハイ、ハイ。出世、戸籍、貯金、嫁、血せえらん  
ぶまとめて人生のボヤ騒ぎ。

## 田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

シロアリが建てた家なら高く買う  
メダカの学校を二年で中退  
永遠もたまには短気起こしそう  
ドクヤクにサソリ ヤクザにエリチェン  
片割れの信号機からみえる丘

先月号の  
お気に入り

## 達毘古

【たつひこ・富山県高岡市】

デカダンの上昇志向消える 散る  
自画像の中指いつも泣いている  
四半世紀 故郷の祭り僕は風  
牛豚がI am叫ぶ舌の上  
ヒトの死が月の栄養だった説

先月号の  
お気に入り

戦争のニュース見ながら食うミカン むさし  
焼き鳥食って酒飲んでのヒト多いのでは？

## 辻井洋子

【つじいようこ・青森県青森市】

ジオラマの電車で向かう青春期  
大皿へ野菜畑を広げてる  
主より腰の座った飯茶碗  
失敗談天ぶらにして食べました  
潮風じゃ少しきついが行きましょか

先月号の  
お気に入り

歩数計西へ西へと今日も行く 斎藤泰子  
速さは誰が決めるのですかねえ。

## 土田雅子

【つちだまさこ・青森県青森市】

星空に続くシャイネスの階段  
駄菓子屋のばあちゃん今日も厚化粧  
気分屋の妻とお天気屋の夫  
残念なところも含めてめおとす  
迷子札落ちてる山のラーメン屋

先月号の  
お気に入り

理系の靴音で夜がやってくる 米山明日歌  
そっ言えば娘の旦那様が深夜を連れて来ます。







### 宮井いずみ【みやいずみ・大阪府大阪市】

ハンガーの向きが逆なの鳳仙花  
フォロワーの唇に咲くけしの花  
速乾のTシャツ未来凶濡れたまま  
血の滲むZ世代の足の裏  
畏まるうちに眠っていたらしい

先月号のお気に入り  
オットセイのように笑うと決めました まきこ  
楽しいなあ。是非一度お話ししましょう。

### 村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

偏頭痛側頭葉で雨垂れが  
火の鳥になる女の子知っている  
走らねば心が遙か前に行く  
簡単に出来そう外野から見れば  
料理本よりも濃いめで褒められた

先月号のお気に入り

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

冥途への往復切符あればなあ  
本音がポロリ後の祭りになっちゃった  
食べてからゆっくり次を考えよう  
独裁者の復活きつと長期戦  
戦争の終着駅が見つからぬ

先月号のお気に入り  
有志だけ押すことできる春のへり 米山明日歌  
春のへそ 良いですね〜押ししてみたいです。

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

同期会病気の話花盛り  
ウクライナマトリョウシカの頬ぬれる  
春の野辺新芽ふめずに千鳥あし  
卒寿くるやりたいことがたんとある  
亡夫の忌に新芽のヨモギ草だんご

先月号のお気に入り  
組板の傷滑らかに開眼する 熊谷冬鼓  
人生で刻みこんだ成果は必ず良い結果につながると思  
っています

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

関係者とすり合わせてるふくらはず  
バタフライエフェクト肩に向日葵  
風と会う空き家の勝手口付近  
紫陽花の降参それもいい色だ  
あきらめる静かな海になつてゆく

先月号のお気に入り  
ぽいぽいと捨てて戒名まで捨てて 宮井いずみ  
ひえ〜そのあたりの断捨離が難しいとこですね・・・

### 柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

ボタン掛け違えたまま地球まわる  
浮雲流れ知らない町に来てしまう  
痛点はここです泣き黒子指さして  
ポケットにため息ひとつ肥後守  
アモーレと背中をあいた赤い花

先月号のお気に入り  
言の葉をこんなにもまあ散らかして 斎藤泰子  
私の頭の中も散らかってます。言の葉たちが、

### 柳谷たかお【やなぎたかお・青森県外ヶ浜町】

生きにくい地球になつたころ寝する  
夏が来るそして番町皿屋敷  
影法師僕より先に泣いている  
金持ちになる正夢を見たいなあ  
星になるならば北極星近く

先月号のお気に入り

### 葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

不届きなゲジ風呂場にも枕にも  
火のような痛みを抱いて下る坂道  
かのひとをおもへば疼き出す奥歯  
3はいや4が好きだと言う娘  
仏間にも笑い袋がやってきた

先月号のお気に入り  
真相をクラムチャウダーから拗つ 四ツ屋いずみ  
5月24日のむさし教室の題は「拗つ」でした。もっと早  
く載っていたらヒントになったかも。

# 川柳ステーション2022



2022年7月6日(土) 13:00～  
 リッチモンドホテル青森 5F「ブリリアンテラス」

▼特別ゲスト (リモート出演)

なかはられいこ (岐阜県)・瀧村小奈生 (愛知県)  
 二村典子 (愛知県)【以上ねじまき句会】

▼出席者 (33名: 受付順)

岩崎雪洲・岩崎眞里子・太田久・小野五郎・菊池京・  
 熊谷冬鼓・河野潤々・さいとうみき・佐藤雅秀・笹田  
 かなえ・笹田隆志・滋野さち・Sin・須藤しんのすけ・  
 田久保亜蘭・田中薫・月波与生・土田雅子・夏草ふぶ  
 き・浪越靖政・奈良一艘・野沢省悟・ひらく・福田文音・  
 藤田めぐみ・三浦蒼鬼・宮古中子・むさし・守田啓子・  
 葉閑女・吉田州花・四ツ屋いずみ・渡邊こあき

▼ご芳志御礼 (敬称略)

弘前川柳社・川柳風の会・川柳ゼミ青い実の会・カモミール  
 句会・黒石川柳社・高瀬霜石・岩崎眞里子・菊池京

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

誤字あて字何でも有りの夏至が来る  
 待ち針で夏にも待っている何か  
 朝毎に替わる私という基準  
 ブロックリーもれなく買ってしま病  
 負けません口のリハビリならしてる

先月号の  
お気に入り

たそがれています大事な時間です 齋藤泰子  
 ひっそりゆっくり心ゆくまでたそがれて下さい

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

花束を持って電車で帰ります  
 着地して槍は静かな棒になる  
 発酵よ 腐敗なんかじゃありません  
 心地よい波のうねりよ酔芙蓉  
 このさいだそつと吸い込まれてみよう

先月号の  
お気に入り

神々も争いごとが好きらしい 葉閑女  
 ほんとうしよつもない(溜息)

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

早い者勝ちで進行女子会は  
 羊羹の重厚 バナナの実直  
 道化師のたやすき指で箱が開き  
 無惨かな雨の芍薬小麦の国は  
 砂時計 堇の日々をいつまでも

先月号の  
お気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

迷路から出ようとしない猿回し  
 黒い国に黒いリングが生りますか  
 ミサイルをUターンさせるおまじない  
 夢の咲く枝を探しているのだが  
 元気ですか 私の中の流星群

## 宿題『復』

青森県黒石市

岩崎眞里子選

## 【佳作】

白髪が目立つメロスが出会う橋  
 一通り女復活しちやいそう  
 神様が呉れたのは片道キップ  
 産道を出てから人の周遊券  
 ドクダミ群生戦禍の国の行方など  
 天国からの帰還方法復習する  
 開放せよ病んだ細胞淘汰せよ  
 帰るときすつと消えます虹らしく  
 モノクロのカセットテープすり切れて  
 バタフライエフェクト 復習は大事  
 退屈なメドレー 桃が茹で上がる

宮古中子  
 田久保亜蘭  
 ひらく  
 岩崎雪洲  
 熊谷冬鼓  
 笹田隆志  
 田中 薫  
 河野潤々  
 菊池 京  
 笹田かなえ  
 藤田めぐみ

さくらんぼの顔に戻ろうマスク取る  
 ドジらないために六秒呼吸する  
 復活の呪文を囁んでしまう通夜  
 人間にもどしてくれる朝がくる  
 復唱を返すカラスのかすれ声

野沢省悟  
 さいとうみき  
 S i n  
 太田 久  
 渡邊こあき

焦げついたボルシチの鍋裏返す  
 ひまわりの迷路戻れぬコロナ前  
 遠雷や鳥にもどれなくて ごめん  
 ゼンマイのもどる音だよ聴くがいい

小野五郎  
 吉田州花  
 守田啓子  
 奈良一艘

## 【秀逸】

回復期から炭酸を弾く音  
 スキップの数が増えてく帰り道  
 復縁と弥勒菩薩とくすりゆび

三浦蒼鬼  
 佐藤雅秀  
 むさし

## 【天位】

物語閉じれば匂い立つスミレ

葉 閑女

## 宿題『復』

北海道江別市

浪越靖政選

## 【佳作】

帰るときすつと消えます虹らしく  
 復縁と弥勒菩薩とくすりゆび  
 復活の呪文、次は私の出番です。  
 さくらんぼの顔に戻ろうマスク取る  
 焦げついたボルシチの鍋裏返す  
 白髪が目立つメロスが出会う橋  
 戦況報道こむら返りがもどらない  
 輪唱を続ける銃声が止むまで  
 復元の形状記憶 忘れた過疎  
 拝復のつぎは仏になるのでしょうか  
 青空一面復路の画布とする

河野潤々  
 むさし  
 須藤しんのすけ  
 野沢省悟  
 小野五郎  
 宮古中子  
 滋野さち  
 藤田めぐみ  
 田中 薫  
 河野潤々  
 土田雅子

復唱を返すカラスのかすれ声  
 復元を試みている生殖器  
 バタフライエフェクト 復習は大事  
 また来ると言つては来たが、な、トンボ  
 いのちみな復刻版という素数  
 蟬になりますか復讐されますか  
 雲どかす拝復パツヘルベルカノン  
 反復横跳びのたびのセピア本  
 既読からあなたの影の乱反射

渡邊こあき  
 S i n  
 笹田かなえ  
 むさし  
 岩崎眞里子  
 月波与生  
 守田啓子  
 四ツ屋いずみ  
 岩崎雪洲

## 【秀逸】

ニヤンコから往復びんた的なキス  
 ゼンマイのもどる音だよ聴くがいい  
 遠雷や鳥にもどれなくて ごめん

ひらく  
 奈良一艘  
 守田啓子

## 【天位】

復元は手足もがれた丸太たち

田久保亜蘭

### 宿題『活』

青森県青森市

菊池 京選

#### 【佳作】

UFOを煮込みすぎないように煮る  
 じゃんけんで次の噴火が決められる  
 北斎の波から月へ跳び上がる  
 熟年のサークル五段活用で  
 手相みて予定をたてる現実派  
 訳ありを纏ってラインの中にいる  
 湿り気を帯びた快活譲られる  
 ヒマワリを活けて戦車を踏み潰す  
 嫌いじゃないわとつちらかった春キャベツ  
 ファスナーのギザギザ路地裏の活気  
 メリージェーンを謳うアルミホイル的男

野沢省悟  
 浪越靖政  
 むさし  
 葉 閑女  
 笹田隆志  
 岩崎雪洲  
 四ツ屋いずみ  
 三浦蒼鬼  
 土田雅子  
 笹田かなえ  
 奈良一艘

青い日は活性炭になりなさい

幸せの高さを競いヒバリ鳴く

水奔るブナの緑を歌にして

生体反応のないQRコードがポツン

活けるのは卑弥呼の指のクレマチス

活火山らしい孤独な尾根である

終活の日記線状降水帯

指先に夜のプレスがまだ続く

半夏生がんばってみるもう少し

#### 【秀逸】

マッチングアプリで出会う森の赤

たどられたくちびるふるふると夏

ここも生き死に蜘蛛の巣のあみだくじ

#### 【天位】

生きめやも 優しいことは強いこと

三浦蒼鬼

佐藤雅秀

岩崎眞里子

奈良一艘

野沢省悟

滋野さち

滋野さち

須藤しんのすけ

渡邊こあき

S i n

藤田めぐみ

佐藤雅秀

葉 閑女

### 宿題『活』

青森県八戸市

笹田かなえ選

#### 【佳作】

柿の花咲いた元気の花さいた  
 螺子山の潰れがなんだまだ遊ぶ  
 常識の範囲で跳ねよカマドウマ  
 たどられたくちびるふるふると夏  
 メリージェーンを謳うアルミホイル的男  
 俎の上で跳ねてもいいんだよ  
 生体反応のないQRコードがポツン  
 ドンと来い開いた傘で聴いてやる  
 活けるのは卑弥呼の指のクレマチス  
 熟年のサークル五段活用で  
 サ行五段活用で歌う松田聖子

熊谷冬鼓  
 菊池 京  
 土田雅子  
 藤田めぐみ  
 奈良一艘  
 田久保亜蘭  
 奈良一艘  
 宮古中子  
 野沢省悟  
 葉 閑女  
 S i n

青い日は活性炭になりなさい

ヒマワリを活けて戦車を踏み潰す

活火山らしい孤独な尾根である

朝活なんておこがましッス目玉焼き

じゃんけんで次の噴火が決められる

終活の友の頁に私の名

北斎の波から月へ跳び上がる

太モモの活断層を見せようか

鱗粉を拭うかキリル文字拭うか

#### 【秀逸】

トリセツのような活力欲しいんだ

波羅蜜多サメ軟骨の私生活

終活のひとつくちびる重ね合い

#### 【天位】

湿り気を帯びた快活譲られる

三浦蒼鬼

三浦蒼鬼

滋野さち

四ツ屋いずみ

浪越靖政

吉田州花

むさし

むさし

守田啓子

田久保亜蘭

月波与生

守田啓子

四ツ屋いずみ





# 川柳ステーション2022

# 特別選『祭』

## feat. ねじまき句会

今年の企画は、ねじまき句会に所属している二村典子さん、瀧村小奈生さん、なかはられいこさんの3名に共選していただき、リモート出演での披講と、特選句を中心とした3名の1時間を超えるディベートによって、最終的に「ねじまき賞」を決めていただくという贅沢なコラボ企画でした！  
最後までそれぞれの主張がぶつかり合ったディベートの行く末は果たして!?

## 特別選『祭』

愛知県刈谷市 二村典子選

### 【佳作】

傘袋あれば盆踊りの先頭

大阪府 中山奈々

ウォッシュレット終えてワッシュョイの続き

青森県 奈良一艘

夜店で告るポップコーンの弾けよう

神奈川県 芝岡かんえもん

ほうれん草を捌いて祝詞たてまつる

埼玉県 ササキユウイチ

背表紙も祭の匂いしちやってる

千葉県 尾崎良仁

夏祭りカミさんを掬ってしまふ

神奈川県 芝岡かんえもん

断面をみればわかるわ祭り好き

静岡県 米山明日歌

踏み出した足を祭りが撫でている

大阪府 小原由佳

ピアスはずして答え合わせのりんご飴

青森県 須藤しんのすけ

お祭りの前夜カンペのプレス位置

北海道 河野潤々

ニンニクの芽が出て祭.com

青森県 笹田かなえ

無明から無明へゆらり祭笛

青森県 岩崎眞里子

綿菓子をちぎって捨てる自傷癖

青森県 S i n

風呂桶の尻に響くやドンチキチン

三重県 林りんりん。

禪がくい込むやつかめの祭

京都府 岩根彰子

草を刈る三年ぶりの祭まで

青森県 渡邊こあき

宵山で拾った誰かの柄の部分

青森県 小野五郎

判例のないお祭りの途中なの

東京都 暮田真名

宵宮はズレたレンズの向こう側

愛知県 青砥和子

詩人だな祭りの路地で嘔吐して

富山県 達 毘 古

### 【秀逸】

水飲んで一度飲んで祭です

青森県 鳴海賢治

謳う祭文ボテリズムガリニズム

青森県 旅 男

「つらいのはきみだけじゃない」を流鏑馬

埼玉県 はちご仔拾

畏み畏み心棒はぐつしより

青森県 旅 男

校庭から遠退いて行く父の笛

青森県 宮古中子

### 【天位】

あくる朝たらいにあかく浮く祭

兵庫県 八上桐子

### 特別選『祭』

愛知県名古屋市長瀬市 瀧村小奈生選

#### 【佳作】

- フェイクではありません 祭へいこう 青森県 鳴海賢治
- 冷凍庫レンチン祭しまらない 埼玉県 はちご仔拾
- 夏祭り大きな口が開けている 奈良県 ひとり静
- 理屈でも形容詞でもなく祭 青森県 守田啓子
- 還暦に始まる人間のまつり 青森県 岩崎雪洲
- 大口をあけて祭を食べ尽くす 青森県 葉 閑女
- 動脈にねぶた囃子の乱気流 青森県 三浦蒼鬼
- 締め切りの身体はどこことなく祭 青森県 まみどり
- 六人のおばさんでする雛祭り 青森県 吉田吹喜
- 河童祭カッパとかつぱらしい人 青森県 月波与生
- 祭りだもの尻尾を踏まれても許す 東京都 藤田めぐみ
- 補聴器の中はいつでも夏祭り 愛知県 長岡みゆき

罫線をはみ出すあたしって祭  
百年を歩き来しており踊りの手  
細胞の一つ一つに祭りの灯

断面をみればわかるわ祭り好き  
山車を引きながら通勤電車乗る  
だんじりのどんじりしがみつく神様

宵山で拾った誰かの柄の部分  
「つらいのはきみだけじゃない」を流鏝馬

#### 【秀逸】

まつりに出るのであなたを守れません  
祭り終え月の砂漠にいる二人  
山鉦にコブラツイストかけている  
シャーマンはタナカさん似で憑依中  
前髪にふれて祭が去ってゆく

#### 【天位】

夏祭りカミさんを掬ってしまふ 神奈川県 芝岡かんえもん

お祭で長葱はみな出ていった  
百年を歩き来しており踊りの手  
夏祭りカミさんを掬ってしまふ  
河童祭カッパとかつぱらしい人  
レモンスカッシュ飲むと祭りのフルコース

締め切りの身体はどこことなく祭  
みずたまを順次降らせてゆく祭り  
前髪にふれて祭が去ってゆく

#### 【秀逸】

「つらいのはきみだけじゃない」を流鏝馬  
罫線をはみ出すあたしって祭  
背表紙も祭の匂いしちやつてる  
あれはゴジラのおならだったか祭だったか  
宵山で拾った誰かの柄の部分

#### 【天位】

オキシトシンもラメもフリルも全部盛り 青森県 きざらぎ彼句音

### 特別選『祭』

岐阜県岐阜市 なかはられいこ選

#### 【佳作】

- 山車を引きながら通勤電車乗る 青森県 潤 子
- 火祭りを見届けたので朝ごはん 長野県 西沢葉火
- 綿菓子をちぎって捨てる自傷癖 青森県 S i n
- 細胞の一つ一つに祭りの灯 大阪府 小原由佳
- あくる朝たらいにあかく浮く祭 兵庫県 八上桐子
- こんなにやくを担ぐよ貧血のぼくら 大阪府 中山奈々
- 踏み出した足を祭りが撫でている 大阪府 小原由佳
- 補聴器の中はいつでも夏祭り 愛知県 長岡みゆき
- 長靴が東映まんがまつり型 長野県 西沢葉火
- 草を刈る三年ぶりの祭まで 青森県 渡邊こあき
- ニンニクの芽が出て祭.com 青森県 笹田かなえ
- 銀紙にくるんで祭終わります 東京都 小沢 史

千葉県 尾崎良仁

兵庫県 八上桐子

大阪府 小原由佳

静岡県 米山明日歌

青森県 潤 子

北海道 四ツ屋いずみ

青森県 小野五郎

埼玉県 はちご仔拾

東京都 藤田めぐみ

愛知県 丸山 進

青森県 小野五郎

北海道 四ツ屋いずみ

青森県 守田啓子

東京都 小沢 史

兵庫県 八上桐子

神奈川県 芝岡かんえもん

青森県 月波与生

青森県 夏草ふぶき

青森県 まみどり

徳島県 徳長 怜

青森県 守田啓子

埼玉県 はちご仔拾

千葉県 尾崎良仁

千葉県 尾崎良仁

青森県 野沢省悟

青森県 小野五郎

青森県 きざらぎ彼句音



**S** それでは、これから3名の特選句を中心に「ねじまき賞」の選考データベースにまいります。まず先に、それぞれの特選句に対するアピールポイントをお話ください。なかはられないこさんからお願います。特選句は「オキシトシンもラメもフリルも全部盛り」です。

**れ** 今回、「祭」というお題で、とても祭らしい句だなと思いました。すごく勢いがあって全能感みたいな感じがしました。オキシトシンというのは幸せホルモンなんですけど、この最後の「ラメもフリルも全部盛り」っていうこのスピード感っていうか、この勢いと、派手さ加減と全能感っていうのが選の時に私に一番欠けていた部分だったのでとても元気が出る句でいい句じゃない

かなと思って選びました。以上です。

**S** それでは二村典子さんお願いします。特選句は「あくる朝たらいにあかく浮く祭」です。

**典** 汗にまみれた法被を洗濯しようと思つて、たらいにつけておいたら、翌朝色が落ちてしまつて、水が真っ赤に染まつていてという光景だと思ふんですが、れいこさんのように祭の最中のアゲアゲな気分ではなく、翌朝の寂しさという点で少し弱いかもしれないんですけど、とても実感が伴つて風景が良く見えてくる句だと思ひました。せつかく漬け込んだもたぶん色落ちしちゃつて来年は使えない物かもしれないんですけどね。どちらかというと、真正面でない翌日

というところがむしろ惹かれるポイントになりました。以上です。

**S** つづいて瀧村小奈生さんお願いします。特選句は「夏祭りカミさんを掬つてしまふ」です。

**小** まず順番に読んできて、一番最初に「夏祭りカミさんを掬つてしまふ」って読んだ時になんかクスツて笑えて、スツと入つてきたんですね。一つ一つの言葉がものすごく優しい言葉とか、わからない言葉は何も使つていないし、あまり企んでいるというか技巧を凝らしているところも全然ないのに、いろんな感触が伝わつてきてすごくいい句だなと思いました。祭つていう非日常みたいなのところに行つているのに、金魚掬いかなんか

で掬つてる絵が見えてきました。掬つてしまつたのがカミさん？カミさんか？と思うとちよつと笑えてしまふ。しかもそのカミさんが嫌だなんて感じが全く伝わつてこなくて、掬つたカミさんやんを大事に持つて帰つたんじゃないかなつて思えるようなところまでちよつと想像できて、すごく地味な句かもしれないんだけど、いっぱい伝えてくれる感触があつていいなと思つて特選にさせていただきます。

**S** この小奈生さんの特選句を、れいこさんは佳作の6番目に選んでおります。

**れ** あーいい句だなと思つて選んでるわけですけど、「夏祭りカミさんを掬つてしまふ」っていうのは、多分イメージとしては金魚

掬いのイメージだと思ふんです。誰でも金魚掬いのイメージが思い浮かんで、金魚じゃなくて掬つたのがカミさんだつた、というところなんだと思ふ。ノロケつて思つたんです、一瞬。カミさんつていう言い方をする私の中の男性のイメージみたいなのがあります。Sin君はカミさんつて呼びそうだなつて思つたんです。で、むさしさんは？えっ？女房ですか。カミさんっていう言い方をする3、40代ぐらいのシユツとした男の人、みたいなのが主体としては浮かんだんですが、ちよつとノロケが入つて、嫌みな感じのノロケではないけど、まあ幸せにすればいいんじゃない？つていう風に思ひました。あんまり私的にはインパクトみたいなのは、つて言うか目新しさばかり求めてい



るわけじゃないんだけどこれは私の知ってる世界だな。と思っただけでいい句と思うし、嫌味もないし、いいんですがちょっと私はあんまり驚けなかった。というところですが、以上です。

**S** 同じ作品を典子さんはもっと低い佳作の15で選んでおりますが。

**典** 低いのが、自分でもびっくりしててるんですよ。一読した時の感想は小奈生さんと全く一緒でクスって笑いました。ああ面白い、って思いました。とても好きな句です。掬ってしまつたつて過去形だったらば、あの夫婦の出会いの場が夏祭りだったみたいなの、プロポーズしたみたいなの、そういう感じのよくある話になる気がするんですが。この場合、結果として思わず掬って

しまったものを見た時におや、カミさんだったと自分でも意外だと思つて、もしくは不可抗力感が漂つていて思うんですね。また掬つたらやっぱりカミさんだ、もしくはなんだカミさんだなんていうあきらめ感も入りつつ納得感もとても出てくる感じがして、いい句だと思いました。

**S** れいこさん、僕、カミさんって言いそうですか？（笑）

**れ** 言いそうです（笑）実はうちの長男は自分の奥さんを紹介する時にカミさんって言いますね。あの、カミさんっていう人と、奥さんっていう人と、いろいろこう配偶者のことを言う人の呼び方があると思うんですけど、カミさんっていう言い方、私嫌いじゃないんです。この句に関

しても、すごくカミさんとの作中主体との関係性っていうのを、カミさんという呼び方で現れてきていると思うんですけど、だから、私も全然嫌いな句じゃないし、よくできてると思うし、ただ私は知っている世界だなと。金魚とは限らないけれども、金魚とカミさん、この近さが私としては、さつき、二村さんが過去形だったら出会いの場面が夏祭りだった、というドラマができてしまうって言つただけで、「掬つてしまふ」で私はドラマを感じてしまつたんですね。夏祭りに浴衣を着たカミさんと昔、出会つて掬つてしまつたもの。今はカミさんになつてるよ、みたいな感じのイメージっていうのが、どうしても拭えなかつたので。好きだし、カミさんは意外性があるし、「掬つてしまふ」

という言い方にもこの二人の関係性が出てていいなあと思うんですけども。最初に言つたように、あまり驚けなかつたっていうか：驚けばいいのかつていう問題でもないんですけど（笑）、そういう意味で特選にはしませんでした。

**S** たまに女性でカミさんっていう言葉が嫌いな人もいませんか？

**れ** そうなの？

**S** ちよつと会場に聞いてみます。カミさんっていうの嫌いな人？あれ？いないみたいですね（笑）では、小奈生さん、今の反論あります？

**小** 少し反論を。今、ドラマっていう話が出てきたけど、逆に私は

すごく日常っていうか、そこにあるもの、っていう感じがしたんです。だから、よく知つてるものみたいな感じがしちゃうんじゃないかなと思うんですけど。ドラマはそんなに感じないんじゃないかなっていう風に思いました。

**れ** Sin君が一番心配してたのが、三人の特選が重なることだつて言つてたんですけど、私は絶対重ならないに100万円かけるつて言つたんですけど、重ならなかつたでしょ（笑）

**典** れいこさんは自信満々で言つてますが、私はそんなに自信がない（笑）

**S** それでは、次、典子さんの特選にいけますか。こちら、れいこ

**れ** さんは佳作の16に選んでますけども。  
**S** はい。  
**れ** そうですよ「あくる朝たらいにあかく浮く祭」ですね。

**れ** 二村さんはもともとが俳人なので、実景というのが、すごく浮かんでくる句だとおっしゃつたんですけども、やっぱり読み方もそうなるんですね。私は川柳書きなので、あまり実景とかよりも、心象的なものが浮かぶんですよ。あくる朝たらいに赤く浮くものを祭だつて言つているんですが、これは心象句だと思つて読んだんです。だから祭りの後のことを抒情的に読む句つていうのは、今までも結構見てきてます。祭りの最中よ



りも、やっぱり後の寂しきみたいなものの方が日本人の心情には合うんだろうなって言うのが少しして、まあ、あくる朝だし、あかくだし、そんなに重い感情ではないんですけど。でもこれもよく知ってる世界のような気がしました。「あ」「あ」「あ」の音の繋がりとか。「あ」が多い句なんです。「あくる朝たらいいなあかく浮く祭」だから、暗くはないので、とてもいいんじゃないかなと思っただけです。祭りの後を書くものとしてはね。祭の後ろをあまりにも叙情的に引つ張られると嫌気がさしてしまうんですけど。ちよつと明るいところはいいんじゃないかなと思っただけ取りました。

S はい。それでは小奈生さんは選外になってますね。

魚って思ってしまったら、ちよつとなんか。でも句としては悪くはないと思うんですけども、そういう読み方もできるなって言う。一つの解釈の仕方。なんですけどね。

S 反論どうぞ。典子さん。

典 二人のはなしを聴いて、確かにあかく浮く祭が金魚とかで心象風景だと嫌です。すぐに色落ちした法被の染料が、多分いわゆる即物的、心象風景ですらない、もうパツと目の前に即物的な風景が見えて、今まで見たことある光景で金魚だと嫌です。それは読み手の問題であって、あかは色落ちした安物の染料です。

S 典子さん、金魚は浮かんだんですか？

小 はい。予選でチェックしている時には、やっぱりなんか惹かれるものがとても多い句なので、チェックしている句なんです。私も実景っていうよりは雰囲気

で惹かれる要素が多いと思います。祭りのあくる朝に祭りがあかく浮いているんだと思うとすごく惹かれるものがあります。が、何回も繰り返し読んでいった時、あくる朝でたらいという、今なかなか使わない特別なもので、そこに祭が浮いているんだけど、しかもそれがあかという色で浮いている、それがスパーンと、例えば法被のあかでしょ、何々のあかでしょと具体的にイメージができればよかったです。あかもやつぱり呼び出されるような、何かがあるような印象を受けて、あまりにも思わせ振りというか、気

典 浮かばなかった、金魚。

れ 俳人はあんまり浮かばないかもしれないです。俳句の人と川柳の人と一緒に句会やっていると本心に即物的な、見たまんまの風景を最初に思い浮かべるんですけど、川柳の人って深読みをしちゃうくらいがあつて、これは何かの杞憂ではないかとか、これは具体物を差し出しながら心象的なものを表しているんじゃないか、っていう読み方をすることが癖になっている川柳人と、即物的なそんなこと何も考えないで見た風景を先に思い浮かべる俳人と一緒に句会をやるのはすごく楽しいです。

S なるほど。はい、では次、れいこさんの特選ですね。「オキシト

を惹かせる要素が多過ぎて、逆に自分から遠のいて行っちゃったかなって言う、そんな気がします。

れ はい、ちよつといいですか？私さつきは言わなかったんですけど、身もふたもないんですけど、私、これ金魚が死んじゃったのかなと思っただけです、最初。たらいにあかく浮く祭の象徴として、赤い金魚が浮いてる、っていうふうに読んでしまいました。そうじゃない読み方もできるなと思っただけ、心象風景の方にちよつとシフトさせたきらいがあります。やつぱり、たらいとか、あかくとか、っていうのは、二村さんは実際にある光景とリンクさせる読み方をなされるので、色落ちするようなものを思い浮かべられたんだと思います。金

典

シンもラメもフリルも全部盛り」二村さんからお願ひします。選外ですね。

すみません、ずるい言い方ですけど、予選で気になった句で、景気がいい感じがして祭の盛り上がった気分そのものでとても気にはなつたんですが、でもそれより気になつたのが、オキシトシンは幸せホルモンなので、例えばですよ、赤ちゃんにおっぱいやるときだとか、ネコをなでなでしてるとかの、もうちよつとほんわかした幸せ気分というイメージが自分の中であるものですから、全部盛りの先頭のオキシトシンはどうなんだろうってちよつと考えてしまつた予選からはずしてしまつたという結果になりました。

S はい。小奈生さんも選外ですね。どうぞ。

小 言いづらいのですが、やはり気になっていった句ではありません。特に後半のラメもフリルも全部盛りつていう、この勢いが面白いなあって思いました。ラメとかフリルっていいものだけどころちよつと嫌なことがあったりして。その感触がとつても面白いと思いました。ラメもフリルも全部盛りつて言つて、そこでオキシトシンが先頭に来た時に、すごい考えるものなんですよ。難しい言葉だし、幸せホルモンつていうことは知つていたとしても、すごくそこに理屈っぽいものがくつついてきちゃうんで、いいものの代表としてラメとフリルと並べました、つていうような感じが伝わつて来て、すん

なり何気なくオキシトシンの部分も盛つて欲しかったな。みたいな。そんな気がして選びませんでした。以上です。

S れいこさん、反論しましょう。

れ 私はオキシトシンをそんなに深く考えてなかったの。「オキシトシンもラメもフリルも全部盛り」。豪勢じゃないですかと思いました。今の閉塞感とか、凄愴な感じとか、危機感とか、そんなものを全部とつばらつて川柳ステーションをやりましょう！全部盛りでやりましょう！みたいな感じがこうなっているかな？私はこう駆り立ててくれる空気だったのいいと思しました。正直に言つてしまうと、ラメとかフリルとかリボンとかすごい苦手なんです、実は(笑)

S あたしくらい選ばなくちゃで特選ですか？すごいですね(笑)ここまで、3句、特選句を挙げましたが、他に話し合いたい句はありますか？

れ 他に二句ほどあります。まず一

つ目が三人共選んでて結構評価高いんですけど、順番は別にしてね。「つらいのはきみだけじゃない」を流鏑馬」と「宵山で拾つた誰かの柄の部分」この二句です。三人ともかぶつてるんです。だから特選句プラスこの二句つていうことで話をしてみたいなと思うんですけど。いかがでしょうか？

S はい、それでは「つらいのはきみだけじゃない」を流鏑馬」かいらいますか？

小 それでは、みんな結構気に入つてる句なので、話してみたいと思います。「つらいのはきみだけじゃない」を流鏑馬」つらいのはきみだけじゃないつていうのはよく言われる言葉だと思います。でも一番効果がないつて

いうか、一番役に立たないと言うか、一番言つてほしくないつていうか。「つらいのはきみだけじゃない」つて言われるより「つらいね」つて言つてもらつた方が良いかもしれないと思うような言葉だと思います。で、それを「流鏑馬」つて。誰かを打つつていうのと違うのだけれども、その馬に乗りながら弓を引いて、当ててしまいたいという勢いと、内容的にも面白いので頂きました。

れ 私もほとんど同じです。すごく悩んでたりとか、すごい苦しんでたりとか、悲しんでたりする人に向かつて「つらいのはきみだけじゃないよ」つていうセリフつていうのは、頑張つて背中を押しているように見えながら、実は全然親切じゃないつて

いうか。そういう言い方されるのと、正しいことだし、すべての人が前向きになる必要があるつて思っている人たちが普通に言つて、すべての人が、「つらいのはきみだけじゃない」つていうのを自分を騙しながら人生歩いて行かなくちゃいけない、決められた認識みたいに、社会的な通念みたいなのがあつて、前向きじゃないのはだめだし、落ち込むのはダメだし。そういうことに対して「つらいのはきみだけじゃない」つていうような言い方自体を批判しているようなところが、私はすごく好きです。川柳つてそもそもそういうものであるはずだと思う。この作り方ですよ。「つらいのはきみだけじゃない」つていう長い言葉を括弧でくくりながら、「を流鏑馬」この「つらいのはきみ



だけじゃない」っていうのを名詞化してるっていうか、具体化してるんですよ。それを流鏑馬でどうするかは言っていないけれども、流鏑馬っていうのは矢を射るものだから。そんなに強く壊そうとか糾弾しようとか、という意味ではないと思う。そこらへんの手加減が上手です。変な言い方だけど、本当に糾弾してるんだ的なものが無い所もとてもいいんじゃないかな。空中で打ったり、流鏑馬って矢で射るんだけど、そもそもが当たることだけが目的ではなく、相手を倒すことが目的ではなく。だからそういうところの加減がとてもいいんじゃないかなと思います。

S 典子さんお願いします。

典

「つらいのはきみだけじゃない」というメッセージというか、本来の意味を射落とす流鏑馬を使ったのであれば流鏑馬という言葉があまり生きていない気がしたんですね。流鏑馬という、いわゆる儀式とか神事というのは射落とすのが目的ではないんですね。先ほどのお話に戻るわけじゃないんですけど、私は目に見えた景色にしたいんですね。この場合どうしたらいいかというと、「つ・ら・い・の・は・き・み・だ・け・じ・ゃ・な・い」という看板みたいなものが流鏑馬の的にように順番に並んでいて、それを馬に乗った人が一つずつ射ってゆくってやると、もうこの景色になるし、ちゃんとした流鏑馬と言うことになりますよね。(会場驚きの声)笑われてますけど(笑) 頭の中で流鏑馬も

れ

柄の部分落ちてるっていうのが、そもそも面白いんですけど、それも誰かの柄の部分なんです。柄の部分まですごく想像したんだけど、柄ってあの例えば、鎌の柄、それから包丁の柄、それから：刃物ばかりだね、傘の柄。言っているのは、その手に直接握るものであるから、とても大事なもので、先にくっつくものによつてもすごく違う。あの諸になるところ。だからすごく大事な部分なんですけど。その部分を拾いました、ということがとてもおもしろかったです。誰かの柄の部分、じゃ、あたしの柄の部分ってどこだろう？って考えるんじゃないです

生かしてメッセージも生かして、それを映像化するとどんな光景が浮かんできました。面白いなって思います。

S 会場、めっちゃ共感してましたよ。

典 ありがとうございます。

S もう一句いきますか。「宵山で拾った誰かの柄の部分」

典 誰かの柄の部分というのが、

そもそもどういう部分かわからないし、どんな形をしているのか、ほんわかにはか分からないけれども、この句の主役であることは確かだと思います。で、わかるところをたぶん宵山が補ってくれるはずなんですけど、はじめは取材するんですが、宵山で拾うとどんなものか、全然

か？だから私の柄の部分は、やっぱり、手かな？いろいろ考えて、すごく面白かったです。二村さんと、同じになるんですけど。宵山って限定されているんです。象徴的な祭りではなくて、実際にある宵山って言う祭りです。宵山で柄に関係のある部分とかそういうものを私が知らないだけで、何かいわれがあるのか、そういう余分な考え方とか浮かんできちゃって、ちよつとこの句を心から楽しめなかつたんですね、だから。普通のお祭りで拾ったんだしたら私はもつと推してたなっていう感じがします。いい句なんだけど面白い句なんだけれども、ちよつと宵山でテンションが落ちてしまいました。最初、特選で選んでたんですけど、バラしてしまいました。



小

ほとんど出ちゃってるんですけど。宵山って祭りの山で拾うとなると、私のイメージはすごい人出だろうな。その中で何かを拾うっていうのは大変なことだよねって。で、落っこちてたものが誰かの柄の部分。拾った誰かの柄の部分っていう、この部分がすごく面白い部分。だから選んでます。で、柄の部分っていうのが中心部分ではなく、でも柄は絶対ないと困るっていう、そういうバランス的にも柄の部分を持つて言う設定がとっても面白いんじゃないかなと思えました。私も、私の柄の部分ってどこ？って考えて、結局具体的に答えは出なかったんですけど、だけどそれが具体的にわからなくっても、誰かの柄の部分を持つてこと自体が面白いので選んでいます。だから

私もおんなじで宵山でっていうところがよつとでした。はい以上です。

S  
ありがとうございます。れいこさんはテンションが下がって秀の一つということですね。

れ  
テンションが下がったというのはちよつと言い過ぎていうか、言葉が悪いんですけど。でもこれがすごいもったいないなあって、私的にはですよ？で、あのもしかしたら宵山が良いっていう意見の人もいるかもしれない、宵山じゃなきゃいけないっていう意見もあるかもしれない、私はここは具体的に宵山にしないでお祭りという抽象的なものにしてもらったほうが、どんなお祭りでも当て嵌められるようにしてもらったほうが嬉しかった

なあって。

S  
はい、ありがとうございます。それではこの五句からねじまき賞ということでもよろしいですか？

全  
はい。

S  
じゃあ一旦ちよつとこつち音声切りますので、そちらで協議をお願いして、もう終わってるかもしれないけど(笑)

れ  
終わってない、終わってない(笑) 二句じゃいけないの？っていうのを聞こうと思ったんだけど、二句はいけないよね？

S  
ねじまき賞の賞品はホタテなので、2箱ホタテが必要になりますが、ちよつと今、事務局と掛

け合います(笑)

れ  
わかりました、ホタテ1つで大丈夫です(笑) ねじまき賞は1句に絞ります。

S  
はい、一旦音声切ります。まず「ねじまき賞」発表の前に、この五句の作者を先に発表したいと思います。瀧村小奈生さん選の特選「夏祭りカミさんを掬ってしまふ」は神奈川県・芝岡かんえもんさん。二村典子さん選の特選「あくる朝たらいにあかく浮く祭」は兵庫県・八上桐子さん、なかはられいこさん選の特選「オキシトシンもラメもフリルも全部盛り」青森県・きさらぎ彼句吾さん、『つらいのはきみだけじゃない』を流鏑馬』は埼玉県・はちご仔拾さん。「宵山で拾った誰かの柄の部分」青森県・小野

れ  
五郎さんです。それでは、川柳ステーション2022特別選「祭」ねじまき賞の発表です。発表お願います！

れ  
はい。では議論の結果、決まらないところを無理やり決めました(笑)。はい、では発表します。「ねじまき賞」は『つらいのはきみだけじゃない』を流鏑馬』です！

S  
「ねじまき賞」は『つらいのはきみだけじゃない』を流鏑馬』に決定しました！(拍手)

れ  
オキシトシンもすぐよかったんですよ、きさらぎさん。

S  
彼句吾さんは今日いいんですよ(汗)

れ  
え？いないの？あらかう。

S  
(5句の中では)唯一、小野五郎さんはいました。

れ  
「宵山：…」よかったですよ。

S  
ありがとうございます。こんなに長い討論の結果、あまり、お互いに馴染みのない方が「ねじまき賞」となりましたね(笑) これはこれで、ガチでやってる証拠でございます、はい(笑)

れ  
ごめんなさい(笑)

S  
それでは、これで『川柳ステーション2022 特別選「祭」Feat.ねじまき句会』を終わりたいと思います。ありがとうございます。



# 深艘心理

## 局部の患部二人の堪忍袋

旅男

(おかしょうき会員雑誌集無人駅6月号より)

局部を辞書で引いてみる。局部とは①全体の中の限られた一部分、局部。②陰部。局部とある。次に患部。患部とは「病氣や傷のある部分」。

堪忍袋は皆さんご存知の堪忍袋の緒が切れたと表すように我慢の量を貯めておく袋の事。で、掲句をそのまま読めば、「局部Ⅱ局所Ⅱ陰部、つまり生殖器に病氣(性病・或いは何らかの病氣を抱えたどちらかがうっかり相方に移してしまっただか、はたまたその病氣が原因で相方は我慢の限界を越して大喧嘩になって別れた」んだろーなあ。ヤバいなあ、バッチいなあ、悲惨であるなあ。と大方は誤解して読まれる句であろう。こうなればそのような句は誰も(特に女性には)評価に関わることさえしないだろうし、単にお下品な句は認めませんで終わってしまふ懸念があります。

だが「深艘心理」としては掲句をこう読みたい。「局部は生殖器などではなく人間として一番大事な思想の価値観という比喩

であり、そこが相手をもつ価値観との少しずつのずれがまるで深い傷のように広がって最後は取り返しのつかない事態に陥り何度も話し合ひはしたものの、遂にその隙間をうずめることができなかつた」のだと。作者本人としてはデフォルメの極みとしての実験句だったのでないのかと思いますが、それが成功したか、しなかつたか、果たして如何に。

むさしさん、省悟さん、Sinさん、そしてこの一艘も生殖器や陰毛、女陰などの句は結構発表しています。あまつさえ生理の句まで過去に何度も若気の至りとして挑戦もしたこともあります。周りの誰からも評価はされず悩んでいたそんな時、岸柳さんから「選者によって好き嫌いはあるが大いに挑戦すれば良い」と励まされました。過激な生殖器などの言葉を上手く使いこなすには色々な手法はありますが、先輩方の句をよくご覧になって研究をなさればきっと自分なりのやり方が見えてくる筈です。期待しております。ガンバレ旅男さん!

### ― 参加者募集 ―

## 川柳吟行会「ぽ」

## 課題『雨』

奇しくも東北北部に梅雨入り宣言があつた6月15日(水)青森市のアウガで合評会が開かれた。恒例により参加者6名が順に出句の中から気にかかると句等を取り上げる合評したが、全員の要望で途中から全51句について自由に発言する形に切り換えた。一巡した頃には既に5時になっていた。参加者が多いわけではないが各人各様の感じ方、考え方披露されて楽しい集いとなった。このような方法もあつていいなと思つた。(五郎)

【7点】特×2・佳×3

一食を抜いても雨が降っている

小野五郎

【彰子】一食を抜いても、増やしても降り続く雨。「雨」に「完」はないものだろうか、「抜いても」が川柳。【文

音】一食を抜く非日常的なことで、雨が止んだらと願掛けしているのではないだろう。助詞「も」がこの句を深い意味のあることにしている。【朱美】自分の意志ではどうにもならぬこと。【いずみ】降り続く雨を「一食を抜いても」という尺度ではかるのがユニークで面白い。【かなえ】「一食」を抜く行為の原因は分からないが、たまらなく切ない。

【6点】特×2・佳×2

銃声はるか にせアカシアの白い雨 吉見恵子

【さち】遠い国ウクライナと目の前に咲いているハリエンジュの対比が生きている。白い花色が悲しく憤っている。【冬鼓】「にせ」の平仮名表記と「白い雨」に残酷な戦争に対する怒りと犠牲になった人たちへの哀悼の思いを感じる。【啓子】ロシア侵攻が続く中、我が国では花

吹雪が。ニセアカシアの「にせ」も効いている。いますぐ停戦を！【文音】佳い時事吟だと思いました。日本にいての他人事。にせアカシアは永遠に、にせアカシアであって欲しい。

【6点】特×1・佳×4  
**6月6日のわたくし事に雨が降る** 笹田かなえ

【州花】毎年この日は雨になるのでしょうか。【与生】絵描き歌には欠かせない6月6日のフレイズ。わたくし事としたところがいい。【善江】6月6日は、芒種でもあり、「わたくし事」の大切な日でした。なのに・・・【さち】控えめなわたくし事がいい。想像が広がる。【こあき】どんなわたくし事が気になります。

【5点】特×1・佳×3  
**迷ったびそごだけに雨 きつと父** 守田啓子

【柳本恵子】何度読んでも詩性があり、この世界観がとても好きな句でした。【さち】お父さんに愛され・愛していたんだね。羨ましい。【冬鼓】お父さんへの思慕がストリートに伝わる。【こあき】私は迷ったび母に会いたくなります。

**小雨降るエンドロールの中にいる** 渡邊こあき

【吉見恵子】誰かの人生のエンドロールの中ととれば、しめやかな雨が効いて来る。【いずみ】エンドロールの小雨に佇む詠み手。きつとこの作品を堪能したのだろう。【冬鼓】わが身と重ねてか。エンドロールに雨を降らせたいがいい。

【3点】特×1・佳×1  
**土砂降りの雨あいたい人がいるのです** 柳本恵子

【親子】本気で好きなら土砂降りも何も関係なく会いに行く一読して土砂降りになってでて行く雨宿りを思い出した。【五郎】感情表現が独特。

【3点】佳×3  
**延々と国境越える破れ傘** 滋野さち

【朱美】破れ傘の中に私もいる。きつと。【吉見恵子】「破れ傘」、身の頼りとするものがない戦争難民の悲劇を詠んでいる。でも、「延々と」が気になった。【親子】ウクライナの避難民が最初はちゃんとしていた傘も長い距離逃げている間に気付けば傘がぼろぼろになっていたそんな場面が浮かんで切なくなつた

**いくつもの「もしも」があった雨宿り** 小野善江

【朱美】人生だと思えます「もしも」で人生が変わるなら、後悔ばかりしていると思う。【柳本恵子】雨宿りからいろいろなドラマが始まる予感がする。【文音】単純だろうが軒下の雨宿りでいくつものドラマを感じました。【五郎】意味深長な作り方がきいている。

【4点】特×2  
**しめやかに夜の雨樋通過中** 熊谷冬鼓

【いずみ】「しめやか」の措辞から雨樋を流れてゆくのは雨ではなく、涙かもしれないと思わせられる作り方がうまい。【かなえ】「しめやか」と「雨樋」に唸った。屋根から滴り落ちるものは、読む人の心それぞれに浮かぶだろう。

【4点】特×1・佳×2  
**雨だった頃は尊い奴だった** 達毘古

【啓子】雨が上がってフツツの人に？雨の方がいいという逆転の発想が面白い。【善江】そうなんです。私が「雨だった頃」は、たとえようもなく大切「だった」人でした。【州花】そうです変わるので。人生観も常識も。

【2点】特×1  
**雨が降る無言電話を聴くために** 月波与生

【善江】無言電話の向こうで雨が降るのフレイズは既視感がありますが、「無言電話を聴くために」は説得力があります。雨の擬人化が面白いと思いました。

**ねばならぬの雨へ海月になれる傘** 宮井いずみ

【与生】ねばならぬ雨とは必然のことか。とすれば海月が傘になるのも川柳的には必然でありその強引さが面白い。

**流星雨打たれ打たれてファイザーモデルナ** 吉田州花

【達毘古】深刻な内容をさらりと詠まれて、これでいいんか、ですが、上手いので。

**雨天決行F16戦闘機** 笹田かなえ

【五郎】単刀直入に現前の危機的状況を切り取って見せた。

**雨上がり向日葵の背丈聞きに行く** 滋野さち

【こあき】大きくなる向日葵に希望が感じられました。

〔2点〕佳×2

雨漏りぴっちゃん人の名出てこない 宮井いずみ

【達毘古】淋しい句ですが可愛い句でもある。【吉見恵子】軽やかで笑えるが、現実的な深刻さも。

街ひとつ廃墟に変えた鉄の雨 村井規子

【柳本恵子】鉄の雨にハッとさせられ、また平和を祈らずにいられない。【かなえ】ウクライナへの侵略戦争は、本当にむごい。

〔1点〕佳×1

黙り込む私たち梅雨になるだろか 渡邊こあき

【啓子】しつくりいかない人間関係をうまく表現している。「梅雨の関係」とは陰湿で嫌ですね。

雨粒を手裏剣にして駆け出した 小野善江

【彰子】雨粒は丸いを手裏剣で覆した。

遠ざかる猫の足音夜の雨 笹田かなえ

【州花】静かに雨が降る夜は。

## 十和田たてがみ川柳会六月句会

○参加者：木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・福田芳記・村上昌子・高田幸柳  
○投句者：城後朱美・磯島雅男

■席題『珈琲』 福田 芳記 選

【平抜き】

カミさんのコーヒーで朝動き出す 斉藤 蛙井

珈琲で気力を貰う今日の幸 木村奈生美

コーヒーにするかおひとり様の午後 佐藤まさあき

珈琲をすする背中に夕日映え 高田 幸柳

一杯のコーヒーからの恋育ち 木村奈生美

缶コーヒー分け合う仲となりました 斉藤 蛙井

マスクでも自家焙煎の漂う香 瀧尻 善英

コーヒーを覚えた頃は夢多く 斉藤 蛙井

【秀逸】

サイフォンに注ぐマスター燻し銀 瀧尻 善英

鏡には諦観めいた小糠雨 守田啓子

【彰子】鏡台の自分に対峙する小糠雨が良い。

通り雨ほくだけ泣いたわけじゃない 達毘古

【与生】通り雨、は動くし弱いと感じたが、まあそういう弱いぼくを表したのだろうと。

優しい人にやさしい雨が降ってくる 城後朱美

【達毘古】私には降らない雨。優しくなりたい。

雨乞いか驟雨がanyaのフルセット 月波与生

【規子】エンヤの歌声は特別。あの声を雨音と一緒に聞いたら最高の子守唄。

コーヒーの香り覚醒する五感

瀧尻 善英

【特選】

告白が出来ずコーヒー冷めていく 佐藤まさあき

■席題『珈琲』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

カミさんのコーヒーで朝動き出す 斉藤 蛙井

ブラックが今日も元気に頑張れと 高田 幸柳

一杯のコーヒーからの恋育ち 斉藤 蛙井

缶コーヒー分け合う仲となりました 佐藤まさあき

告白ができずコーヒー冷めていく 佐藤まさあき

コーヒーにするかおひとり様の午後 佐藤まさあき

珈琲をすする背中に夕日映え 高田 幸柳

還暦は苦いコーヒー好きになる 久保あざみ

ゆずらないサイフォン派對ドリップ派 福田 芳記

【秀逸】

アメリカン濃いやつ頼む変な客 福田 芳記

珈琲の湯気から揺れる恋心 木村奈生美

【特選】

コーヒーの砂糖は二つだったわね 高田 幸柳

■宿題 『好奇心』

久保あざみ 選

【平抜き】

新聞に好奇心そそる記事探し  
 好奇心いっぱい抱いて青りんご  
 好奇心そそる十和田のシバザクラ  
 目が点になるシワ伸ばすコマージュ  
 3歳児「なぜ、どうして」を繰り返す  
 お互いに好奇の目線タマと住む  
 落とし穴ばかりに子等は行きたがり  
 どれどれと覗く他人の好奇心  
 カーテンの裏側見たがり遊ぶ風

【秀逸】  
 リュウグウの砂に詰まった好奇心  
 好奇心青虫コロコロ手の平に

【特選】  
 底なしの沼で溺れる好奇心

中村 英三  
 斉藤 蛙井  
 磯島 雅男  
 村上 昌子  
 佐藤まさあき  
 村上 昌子  
 瀧尻 善英  
 木村奈生美  
 斉藤 蛙井  
 福田 芳記  
 中村 英三  
 瀧尻 善英

■宿題 『コピー』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

コピーして楽な手書きの手間省き  
 わたくしのコピーがほしい年度末  
 「コピー、お茶」自分でやれよと呟く日  
 参院選キャッチコピーが躍り出す  
 厄日にはコピー機までも紙詰まり  
 月末はカニカマぼこで乗り越える  
 リモート会議コピー用紙が拗ねている  
 コピー取りから教わった初仕事  
 社の噂コピー室から拡散す  
 印刷もコピーも思い写せたら  
 見え消しの嘘ならいつそ捨ててくれ  
 それぞれの持ち味を出すカバー曲

【秀逸】  
 根幹が揺らぐコピーへの顔ばかり  
 コピーへの上書きだけで生きてきた

【特選】  
 贋作は主張し 本物は黙り

木村奈生美  
 城後 朱美  
 佐藤まさあき  
 福田 芳記  
 佐藤まさあき  
 久保あざみ  
 城後 朱美  
 木村奈生美  
 佐藤まさあき  
 木村奈生美  
 高田 幸柳  
 瀧尻 善英  
 高田 幸柳  
 瀧尻 善英  
 高田 幸柳  
 瀧尻 善英

■宿題 『豪華』

互選

①あの世では両手に花の大富豪  
 ①庶民です豪華な暮らし要りません  
 ②お点前を金の茶室で飲んだ夢  
 ②ただの酒豪華振る舞い前夜祭  
 ②シャネル5が「ほ」の字の心そつと出す  
 ②ふところにキープ豪華な未来地図  
 ③宝石を散りばめ光るいくら丼  
 ⑤豪華な舞台を背負うベニヤ板

高田 幸柳  
 久保あざみ  
 佐藤まさあき  
 福田 芳記  
 斉藤 蛙井  
 木村奈生美  
 瀧尻 善英  
 村上 昌子

◆十和田たてがみ川柳会8月例会案内◆

【時】8月20日(土) 午前10時から 【所】十和田労働  
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『尻拭い』高田幸柳選  
 ／『集合』木村奈生美選 【互選】(二句詠)『しがみつ  
 く』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】  
 一題(三句詠・共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者  
 から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平  
 72 高田幸柳宛

「チャレンジ川柳!  
 むさし流!」のブ  
 ログはこちら



.....  
 □ **2022.10.09 第40回東北川柳連盟秋田大会・第86回秋田県川柳大会**

【日時】令和4年10月9日(日) 開場・受付9時/席題発表10時/出句締切11時半/大会開始13時【会場】アキタパークホテル(秋田市山王4-5-10) Tel018-862-1515【会費】2,500円(昼食・大会誌呈)【宿題共選】(各題2句詠・2人選)『遺跡』高瀬霜石(青森)・渡部光人(秋田)選/『牧場』熊谷岳朗(岩手)・赤石ゆう(秋田)選/『さくらんぼ』片倉卯月(山形)・藤咲子(秋田)選/『フラダンス』駒木香苑(福島)・加藤一行(秋田)選/『七夕』雫石隆子(宮城)・高橋三鳩枝(秋田)選【席題共選】(一題二句詠・2人選)『印象吟』長谷川酔月(秋田)・大石一粋(秋田)選【前夜祭】会費5,000円(希望者のみ)午後6時会場アキタパークホテル【宿泊】10月8日アキタパークホテル一泊朝食付4,500円 \*大会・前夜祭宿泊の申込先(9月30日締切)/大会参加のみの方も会場設営及び昼食の準備のため、電話かFAXで事務局へお知らせください。(事務局)〒010-0953 秋田市山王中園町10-17シーライトマンション306 菅原浩洋 TEL.090-2973-8871 / FAX.018-802-0870【主催】東北川柳連盟・秋田県川柳懇話会

.....  
 □ **2022.11.23 尾張旭川柳会 創立35周年記念川柳大会**

～大会のスムーズな進捗を図るためすべて事前投句とします～【課題と選者】(各題2句)共選『起』鈴木順子(豊橋番傘川柳会)・北原おさ虫(フェニックス川柳会) / 『慣れる』堀内重紀(名古屋番傘川柳会)・猫田千恵子(川柳きぬうらクラブ) / 『鈍い』原雄一郎(名古屋川柳社)・山下吉宣(岡崎川柳研究社) / 『ときめく』やまぐち珠美(海老名川柳天馬)・荒川八洲雄(中日川柳会) / 『自由吟』浅見和彦(尾張旭川柳会) 謝選【投句締切】10月31日(月)(当日消印有効)【投句用紙】所定の用紙(11月23日の披講・表彰式の出欠を明記して下さい)【投句料】¥1,000円(切手不可)【投句先】〒489-0031 瀬戸市五位塚町11-329 青砥和子宛【発表】「川柳あさひ」12月号に掲載(12月初旬にお届け予定)【披講・表彰式の日時】(マスク着用、アルコール消毒、検温等の感染対策の徹底をお願いいたします)令和4年11月23日(水)13時15分～16時【会場】尾張旭市文化会館「あさひのホール」【会場へのアクセス】名鉄瀬戸線「尾張旭線」下車南(市役所方面)へ出て徒歩5～10分【問い合わせ先】水野奈江子:電話FAX.0561(54)5960・090(4855)4049 青砥和子:メールアドレス aoto11@gctv.ne.jp ※連絡があれば所定用紙を喜んでお送りいたします。【主催】尾張旭川柳会【後援】愛知川柳作家協会・中日新聞社

.....  
 □ **2022.09.11 第76回県川柳大会**

【日時】9月11日(日)午後1時から(同5時半頃終了予定)【会場】東奥日報新町ビル3階New s'ホール(青森市新町2丁目)【会費】2千円、高校生以下無料【特別選】「楽」(1人2句)安藤紀楽選【宿題】(各題1人2句)「暇」吉見恵子・千島鉄男の2氏共同選/「疑心暗鬼」むさし・瀧尻善英の2氏共同選/「遅咲き」成田我楽・田沢恒坊の2氏共同選/「くらくら」野沢省悟・田鎖晴天の2氏共同選【投句締切】8月8日(月)当日消印有効直接持参する場合東奥日報新町ビルで平日午前9時～午後5時のみ受け付けます。【席題】当日2題出題(各題1人2句)選者は2題のうち一方が熊谷冬鼓・三浦蒼鬼の2氏、もう一方が岩崎真里子・高瀬霜石の2氏による共同選【投稿】作品はすべて未発表に限る。応募用紙はホームページよりダウンロード可。【投稿先】大会会費(郵便小為替)を同封し、〒030-0801 青森市新町2-2-11、東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛【賞】当日出席の有無にかかわらず全投稿者を対象に採点し、総合1位に県知事賞、2位に県議会議長賞、3位に県教育長賞他20位までの上位入賞者に賞品を贈ります

.....  
 □ **2022.09.19 第59回東北海道川柳大会**

【日時】令和4年9月19日(月曜祭日)受付午前10時より【場所】とかちプラザ1階大集会室(JR帯広駅南口前)帯広市西四条南13丁目30番地0155-22-7890【宿題一部】各題二句詠(新作・事前投句)「緑」折原博美(札幌)・池田山葵(札幌)共選/「集まる」大家北灯(登別)・岡本恵美子(札幌)共選【投句料】1,000円(大会誌呈)【投句用紙】指定用紙(コピー可)住所・氏名・雅号・電話番号・大会及び懇親会への出欠明記【投句締切】7月20日(水)締切厳守【投句先】080-0052 帯広市新町東5丁目5番地 伊藤寿子方 東北海道川柳大会事務局 ☎・Fax 0155-34-3500【公開川柳】みんなで語ろう 当日参加者による川柳鑑賞【宿題二部】各題二句詠・出句締切り11時30分「伸びる」清水ひろこ(小樽)選/「待つ」青柳忠(札幌)選/「命」落合魯忠(札幌)選【大会参加費】2,000円(昼食代含む)【賞】(宿題一部)合点10位 同点の時は順位、抜句数、到着順/(第二部)特選賞(各選者別計9句)【懇親会費】5,000円希望者のみ(終了17時)【主催】東北海道川柳連盟 主管 帯広川柳社 \*コロナ予防から大会中止場合は宿題一部をもって「東北海道川柳誌上大会」と致します。

■会費拝受【6月受付分】

宮古中子（青森市）/Sin・工藤比呂美（外ヶ浜町）/須藤しんのすけ・斎藤早苗・奈良一艘（弘前市）  
/三浦蒼鬼（黒石市）/宮井いづみ（大阪府）/郷田みや（愛媛県）/越田清四郎（東京都）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆「川柳ステーション2022」も無事終えることができた。今年は何んといっても、ねじまき句会の皆さんのリモート出演だけがもう本当に心配で、久しぶりに緊張というものを味わった時間だった(汗)◆このコロナ禍によって、リモートという新しい飛び道具が一般的に普及されたが、以前であれば、そのタイムラグや会話が聞こえづらいなどで、テレビなどでも採用されづらい技術だったが、一番大きいのは、視聴者の受容なんだと思う。受け答えのズレとか、音声が飛んだり、フリーズして再接続することが、あまり気にならないように刷り込まれてきたのだろう。そんな状況もあって、今回、リモートで遊んでみようという皆さんにお声がけをしたところである◆さて、リモート企画の感想の前に、第7波が来る前に開催出来たこともタイミングが良かったし、マスク越しではありながら、皆さんの顔がすごく嬉しそうだし、楽しそうだし、この時をすごく待ち望んでいたんだ

など、すごく伝わってきた時間でもあった。来年ではきっと味わえない空気感だったように思える◆さて、どうなることやらわからないままスタートしたりリモートでの企画も、多少、マイクの不具合が発生したりもしたが、ネット接続も途切れることもなく、概ね大成功だったような気がする。ただ、当日の頭の中は技術的なことやディベートの展開や時間のことや、フル回転すぎて、さすがに疲れた(汗)やはり感じたのは、誰かが一方的に喋ることは何も問題ないが、リモート側と細かな会話のやり取りは厳しかったかなと思う。こちらの冗談やら空気感みたいなものが共有できていないような気がして、やはりこれがリモートの限界なのかなと感じた◆でも、お金をかけずに世界中の誰とでも繋がれるこのシステムは、いずれまた川柳ステーションでお世話になるかもしれないと思ったのも事実である。ねじまき句会の3人や、投句してくれた方、参加してくれた方に本当に感謝したい◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2022.08.10 「川柳吟行会 ぼ」8月句会

【投句締切】8月10日（第2水曜日）【題・投句数】『火』3句【合評会】8月17日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方ならおかじょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2022.08.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(10月号分)

【締切】8月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】10/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2022.09.03 おかじょうき川柳社本社9月句会

【時】9月3日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】9月2日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『よろよろ』/『余』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「思春期」1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子) ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2022.09.14 「川柳吟行会 ぼ」9月句会

【投句締切】9月14日（第2水曜日）【題・投句数】『雲』3句【合評会】9月21日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方ならおかじょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

第27回

杉野十佐一賞  
作品募集

課題/締切

「産」(2句詠) / 2022.9.30 ✕

選者

徳永政二 (滋賀県 / 「びわこ番傘川柳会」所属)

なかはられいこ (岐阜県 / 「ねじまき句会」所属)

樋口由紀子 (兵庫県 / 「晴」編集発行人)

広瀬ちえみ (宮城県 / 「垂人」編集発行人)

中前棋人 (静岡県 / 第26回杉野十佐一賞大賞受賞者)

むさし (青森県 / おかじょうき川柳社 代表)

投句料

1,000円 (発表誌をもって投句料領収したものとさせていただきます / 締切日まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます)

応募方法 ※郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<https://forms.gle/iAX2fZRBvFG37iyc8> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。



スマホで簡単に応募！

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第27回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス(守田啓子宛): [moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com)>  
送信後、下記口座に投句料1,000円をお振込みください。

振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2023年1月号の誌上において発表。  
サイト掲載: 2023年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

基本的に著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の目的で使用することはありません。